

# Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2008年9月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。  
2008年9月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。  
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

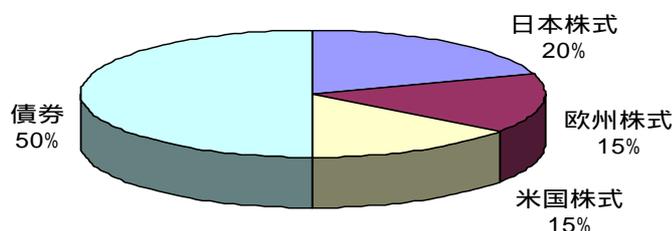
## 特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

## 目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

(グローバルミックスの資産配分比率)



\* 上記は設定当初の資産配分比率です。  
\* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

## 運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

### アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 運用環境について(2008年9月)

## 【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、日経平均が 13.87%、TOPIXが 13.33%となりました。当月は中旬に米証券大手リーマン・ブラザーズの破綻を受け世界的な金融不安が広がったことで日本株式市場は大幅に下落しました。その後、米保険大手アメリカン・インターナショナル・グループ(AIG)への米政府救済策発表や金融安定化法案の発表などを受け、持ち直す場面もありましたが金融不安はおさまらず、月末には日経平均で年初来安値を更新して引けました。

中小・新興市場は企業の資金繰り不安が続く中、換金売りと見られる売りにより全般安の展開となり、年初来安値を更新する動きとなりました。東証2部および日経ジャスダック平均はそれぞれ 8.51%、6.64%となりました。新興市場のマザーズ、ヘラクレス両指数は算出来安値を更新する展開となりました。需給面では、外国人投資家が約5,700億円の大規模売り越しとなりました。また、金融機関も売り越しとなりました。一方、買い越しは個人、事業会社などでした。

## 【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は 9.08%、ダウ平均株価は 6.00%、ナスダック指数は 11.64%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

月初は証券大手リーマン・ブラザーズの経営不安を受け、急速に地合いが悪化しました。その後、リーマン・ブラザーズは破綻し、証券大手メリルリンチは生き残りを賭け銀行大手バンク・オブ・アメリカと合併するなど、金融機関の財務状態に対して警戒感が一気に高まり、米国株式市場は急落しました。

月下旬には、保険大手AIGの経営危機、貯蓄金融機関のワシントン・ミュージアルの破綻、銀行大手シティグループによる地銀ワコピアの買収など金融機関の破綻や買収が相次ぎ、急速に金融不安が広がりました。米国政府は、金融安定化法案を提示し、SEC(米証券取引委員会)は7月の「空売り規制」よりも更に踏み込んだ金融銘柄に対する全面空売り禁止規制を発表し、米国株式市場の安定化に努めました。更に、月末は金融安定化法案が下院で否決されたことから、米国株式市場は大幅に下落しました。

## 【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は 11.89%、英FT100指数は 13.02%、仏CAC指数は 10.05%、独DAX指数は 9.21%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

当月の欧州株式市場は、米国発の金融不安を背景に軟調に推移しました。米証券大手リーマン・ブラザーズが破綻、また米銀行大手バンク・オブ・アメリカによる米証券大手メリルリンチの買収が明らかになると、米国株式市場が急落し、欧州株式市場もこれに追随しました。18日に、米国政府は不良資産買取機構の設立を軸とした金融安定化法案を検討していると発表、さらにSEC(米証券取引委員会)が金融機関を中心に空売りの禁止を発表したことで、米国株式市場は金融株を中心に急騰し、これを受け欧州株式市場も大幅に上昇しました。しかし、29日に金融安定化法案が下院で予想外に否決されると、米国株式市場は急落し、これを受け欧州株式市場も下落しました。また、ベルギーのフォルティス、英国のブラッドフォード・アンド・ビングレーなど金融機関の破綻や国有化が相次ぎ、金融不安は更に拡大しました。

## 【国内債券市場】

国内債券市場は、米国金融不安の拡大を受け乱高下を強いられながらも、前月末から金利は上昇し、10年国債利回りは、1.5%前後のレンジでの動きとなりました。前月末1.4%近辺まで低下していた10年国債利回りは、月初、債券先物の大幅下落を受け金利上昇(債券価格は下落)から始まり、福田首相辞任の影響はほとんどありませんでした。米住宅公社救済策の発表や米証券大手リーマン・ブラザーズの破綻等による「質への逃避」の強まりで金利低下圧力が強まったものの、一方で、利益確定売りの動きや米保険大手AIGの政府管理下への移行が「質への逃避」の巻き戻しにつながりました。米国政府の金融安定化法案への期待感もこの動きを下支えし、国内債券市場は乱高下を繰り返したものの、結果的に10年国債利回りは、1.5%を挟んだレンジでの動きとなりました。

## (参考指標)

		2008年8月末	2008年9月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	1,254.71 ポイント	1,087.41 ポイント	-13.33%
	日経平均	13,072.87 円	11,259.86 円	-13.87%
	新発10年国債	1.405 %	1.480 %	0.075上昇
米国	NYダウ	11,543.55 ドル	10,850.66 ドル	-6.00%
	S&P500	1,282.83 ポイント	1,166.36 ポイント	-9.08%
	NASDAQ	2,367.52 ポイント	2,091.88 ポイント	-11.64%
	10年国債	3.812 %	3.823 %	0.012上昇
欧州	FT100	5,636.60 ポイント	4,902.45 ポイント	-13.02%
	CAC40	4,482.60 ポイント	4,032.10 ポイント	-10.05%
	DAX	6,422.30 ポイント	5,831.02 ポイント	-9.21%
	独10年国債	4.176 %	4.015 %	0.161低下
為替	米ドル/円レート	109.36 円	103.57 円	5.29%円高
	ユーロ/円レート	160.88 円	149.05 円	7.35%円高

\* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

\* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 特別勘定の資産内容について(2008年9月)

### 【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



日付	INDEX
07/10/31	1.009
07/11/30	0.982
07/12/31	0.978
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959
08/06/30	0.927
08/07/31	0.922
08/08/31	0.916
08/09/30	0.851

### 【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
-7.11%	-6.87%	-15.49%	-12.35%	-8.34%	-14.87%

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

### 【特別勘定資産の内訳】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
預貯金・コールローン	707,290	2.1
日本株式型投資信託 (アクサR)	3,074,853	9.2
日本株式型投資信託 (アクサR)	4,578,211	13.7
米国株式型投資信託(アクサR)	4,515,258	13.5
欧州株式型投資信託(アクサR)	3,049,997	9.1
日本債券型投資信託(アクサR)	16,859,682	50.5
その他	593,764	1.8
特別勘定合計	33,379,057	100.0

注) 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っておりません。

### 【保有契約高】

項目	件数 (件)	金額 (千円)
有期型	1,087	2,504,403
終身型	54,442	290,936,682
合計	55,529	293,441,086

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

### 【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

### 【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チーム)



## 日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** TOPIX

### 【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 13.33%であったのに対し、当ファンドは、 13.00%となりました。  
当月の日本株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことがプラスに寄与しました。  
運用協力会社独自の業種別では、相対的に下落した金属と機械を多めに保有していたことや、上昇した不動産を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。  
個別銘柄では、相対的に上昇した住友不動産(8830)、りそなホールディングス(8308)や三菱自動車工業(7211)などをベンチマーク対比で少なめに保有していたことなどはマイナスに寄与しました。

### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。  
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



順位	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	4.0%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.2%
4	日本電信電話	情報・通信業	1.8%
5	武田薬品工業	医薬品	1.8%
6	松下電器産業	電気機器	1.7%
7	本田技研工業	輸送用機器	1.7%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.7%
9	任天堂	その他製品	1.5%
10	キヤノン	電気機器	1.3%
合計			22.1%
組入銘柄数			497銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

## 日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** TOPIX

### 【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 13.33%であったのに対し、当ファンドは、 13.66%となりました。  
当月の日本株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことがプラスに寄与しましたが、主として業種要因が足を引っ張る形となりました。  
運用協力会社独自の業種別では、相対的に下落した石油、金属、飲料・タバコを多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。  
個別銘柄では、上昇した三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)やブリヂストン(5108)などをベンチマーク対比で多めに保有していたことや、下落したキヤノン(7751)を少なめに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。  
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



順位	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.7%
2	日本電信電話	情報・通信業	3.5%
3	日立製作所	電気機器	3.0%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	2.9%
5	日産自動車	輸送用機器	2.5%
6	松下電器産業	電気機器	2.5%
7	東海旅客鉄道	陸運業	2.4%
8	東日本旅客鉄道	陸運業	2.4%
9	ジェイ・エフ・イー・ホールディングス	鉄鋼	2.2%
10	国際石油開発帝石ホールディングス	鉱業	2.1%
合計			29.2%
組入銘柄数			387銘柄

\*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーク・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** MSCI 欧州株価指数(為替ヘッジあり)

### 【運用状況】

当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が 13.04%であったのに対し、当ファンドは 13.53%となりました。

当月の欧州株式市場は、益利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、主として業種要因が足を引っ張る形となりました。

運用協力会社独自の業種別では、上昇した保険、紙・パルプ、建設資材などをベンチマークに対比で多めに保有していたことはいずれもプラスに寄与しました。

個別銘柄では、下落した素材のアングロー・アメリカン(イギリス)をベンチマーク対比で多めに保有していたことや、上昇した銀行のHSBCホールディングス(イギリス)を少なめに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	BP PLC	エネルギー	2.7%
2	トタル	エネルギー	2.5%
3	ネスレ	食品・飲料・タバコ	2.4%
4	HSBC ホールディングス	銀行	2.2%
5	テレフォニカ	電気通信サービス	2.1%
6	エーオン	公益事業	1.8%
7	サンタンデル銀行	銀行	1.8%
8	ロイヤル・ダッチ・シェル PLC-A SHS	エネルギー	1.7%
9	ENI SPA	エネルギー	1.7%
10	サノフィ・アベンティス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.6%
合計			20.5%
組入銘柄数			308銘柄

\* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

## 米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。

「アクサ・ローゼンバーク・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** S & P 500(為替ヘッジあり)

基準価額推移(対ベンチマーク)

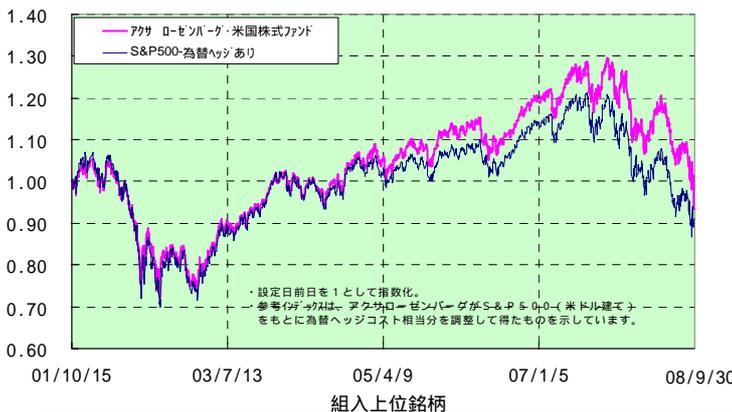
### 【運用状況】

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が 15.08%であったのに対し、当ファンドは 14.68%となりました。

当月の米国株式市場は、配当利回りの高い銘柄が上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことは、マイナスに寄与しましたが、全体としては市場の下落幅に比べ、ファンドの下げは小さく済みました。

運用協力会社独自の業種別では、上昇した銀行、REITを少なめに保有していたことや、下落した石油サービスを多めに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。

個別銘柄では、上昇したサントラスト・バンク・インコーポレーテッド(銀行)、ユー・エス・ティー・インコーポレーテッド(食品・飲料・タバコ)をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。



### 【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。

割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーク証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	エクソンモービル	エネルギー	4.4%
2	シェブロン	エネルギー	2.1%
3	IBM	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.1%
4	AT&T	電気通信サービス	2.1%
5	ゼネラル・エレクトリック	資本財	1.9%
6	ファイザー	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.7%
7	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	1.7%
8	プロクター・アンド・ギャンブル	家庭用品・パーソナル用品	1.7%
9	ジョンソン・エンド・ジョンソン	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.6%
10	ヒューレット・パカード	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.3%
合計			20.6%
組入銘柄数			288銘柄

\* 上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)  
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

**【運用方針】:** 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。  
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

**【ベンチマーク】:** 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

### 【運用状況】

当月の当ファンドは 0.45%となり、ベンチマークは 0.37%となりました。

企業景況感の悪化や景気減速が強まり、物価は高止まりとなっています。インフレ懸念による金利上昇リスクが残る一方、米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題や金融不安、国内外の景気悪化懸念が金利低下を促す可能性も強く、どちらか一方の見通しを描くことは難しいとの判断を維持しました。従って、デュレーション戦略は中立とし、パフォーマンスに大きな寄与はありませんでした。社債等の保有は、対国債利回り較差が拡大する傾向となったため、マイナス寄与となり、ポートフォリオ全体では、マイナスのパフォーマンスとなりました。

基準価額推移(対ベンチマーク)



### 【今後の運用方針】

日銀は、米サブプライムローン問題や金融不安等の不確定要素を注視しながらも、これまでのところ政策金利を維持しています。インフレ懸念は落ち着きつつあるものの、物価上昇圧力は依然として残っていることから、景気と物価のバランスを考慮した政策決定をしてきたと言えます。今後景気の減速感が更に強まることも予想され、上記の不確定要素が实体经济に与える影響を考え合わせれば、日銀は今後も当面は、インフレ懸念とのバランスを取りつつ、より景気に配慮をした慎重な金融政策運営を継続して行くものと考えています。当ファンドでは、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策への影響も考慮しつつ運用を行なっていく方針です。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

信託財産の構成

	組入比率	デュレーション
公社債	99.7%	4.45年
短期資産等*	0.3%	0.00年
合計	100.0%	4.44年

\*債券先物を含む

信託財産の内訳

	組入比率	デュレーション
国債	79.9%	4.84年
地方債	0.0%	0.00年
特殊・財投債	5.0%	3.22年
金融債	0.5%	1.72年
社債等	14.3%	2.78年
コールローンその他*	0.3%	0.00年
合計	100.0%	4.44年

\*債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	5.4%
AA	89.6%
A	4.5%
BBB	0.5%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

\*\* S&amp;P格付を優先

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

## 注意事項

### 変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

\*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

### 変額保険のリスクについて

#### 市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

#### 信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

## 契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-430	1,000	-396	-14.87	-1.95
平成12年 9月 1日	1,000	-437	1,000	-403	-16.13	-2.15
平成12年 10月 1日	1,000	-416	1,000	-383	-13.74	-1.83
平成12年 11月 1日	1,000	-398	1,000	-366	-11.78	-1.57
平成12年 12月 1日	1,000	-378	1,000	-347	-9.53	-1.27
平成13年 1月 1日	1,000	-360	1,000	-330	-7.53	-1.01
平成13年 2月 1日	1,000	-370	1,000	-340	-9.22	-1.25
平成13年 3月 1日	1,000	-337	1,000	-308	-5.34	-0.72
平成13年 4月 1日	1,000	-318	1,000	-290	-3.22	-0.44
平成13年 5月 1日	1,000	-339	1,000	-310	-6.30	-0.87
平成13年 6月 1日	1,000	-332	1,000	-303	-5.73	-0.80
平成13年 7月 1日	1,000	-319	1,000	-291	-4.42	-0.62
平成13年 8月 1日	1,000	-294	1,000	-266	-1.60	-0.23
平成13年 9月 1日	1,000	-257	1,000	-231	2.62	0.37
平成13年 10月 1日	1,000	-212	1,000	-188	7.87	1.09
平成13年 11月 1日	1,000	-227	1,000	-202	5.66	0.80
平成13年 12月 1日	1,000	-231	1,000	-207	4.68	0.67
平成14年 1月 1日	1,000	-231	1,000	-206	4.36	0.63
平成14年 2月 1日	1,000	-205	1,000	-181	7.21	1.05
平成14年 3月 1日	1,000	-211	1,000	-187	6.01	0.89
平成14年 4月 1日	1,000	-224	1,000	-199	4.08	0.62
平成14年 5月 1日	1,000	-217	1,000	-193	4.54	0.69
平成14年 6月 1日	1,000	-219	1,000	-194	3.94	0.61
平成14年 7月 1日	1,000	-183	1,000	-160	7.96	1.23
平成14年 8月 1日	1,000	-150	1,000	-127	11.71	1.81
平成14年 9月 1日	1,000	-147	1,000	-124	11.71	1.84
平成14年 10月 1日	1,000	-119	1,000	-95	14.88	2.34
平成14年 11月 1日	1,000	-116	1,000	-92	14.87	2.37
平成14年 12月 1日	1,000	-128	1,000	-105	12.87	2.10
平成15年 1月 1日	1,000	-101	1,000	-78	15.83	2.59
平成15年 2月 1日	1,000	-76	1,000	-52	18.60	3.06
平成15年 3月 1日	1,000	-69	1,000	-45	19.07	3.18



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-65	1,000	-40	19.21	3.25
平成15年 5月 1日	1,000	-79	1,000	-55	16.78	2.91
平成15年 6月 1日	1,000	-92	1,000	-68	14.77	2.62
平成15年 7月 1日	1,000	-108	1,000	-84	12.36	2.24
平成15年 8月 1日	1,000	-116	1,000	-93	10.93	2.03
平成15年 9月 1日	1,000	-123	1,000	-99	9.71	1.84
平成15年 10月 1日	1,000	-123	1,000	-100	9.22	1.78
平成15年 11月 1日	1,000	-132	1,000	-109	7.72	1.52
平成15年 12月 1日	1,000	-128	1,000	-104	7.90	1.59
平成16年 1月 1日	1,000	-136	1,000	-113	6.44	1.32
平成16年 2月 1日	1,000	-145	1,000	-123	4.92	1.03
平成16年 3月 1日	1,000	-155	1,000	-132	3.44	0.74
平成16年 4月 1日	1,000	-165	1,000	-143	1.78	0.39
平成16年 5月 1日	1,000	-163	1,000	-140	1.74	0.39
平成16年 6月 1日	1,000	-152	1,000	-129	2.62	0.60
平成16年 7月 1日	1,000	-160	1,000	-138	1.24	0.29
平成16年 8月 1日	1,000	-143	1,000	-121	2.89	0.69
平成16年 9月 1日	1,000	-142	1,000	-119	2.68	0.65
平成16年 10月 1日	1,000	-140	1,000	-117	2.52	0.62
平成16年 11月 1日	1,000	-135	1,000	-112	2.74	0.69
平成16年 12月 1日	1,000	-143	1,000	-121	1.40	0.36
平成17年 1月 1日	1,000	-155	1,000	-132	-0.30	-0.08
平成17年 2月 1日	1,000	-152	1,000	-130	-0.40	-0.11
平成17年 3月 1日	1,000	-163	1,000	-140	-1.97	-0.55
平成17年 4月 1日	1,000	-161	1,000	-139	-2.15	-0.62
平成17年 5月 1日	1,000	-145	1,000	-122	-0.66	-0.19
平成17年 6月 1日	1,000	-153	1,000	-130	-1.87	-0.56
平成17年 7月 1日	1,000	-161	1,000	-139	-3.20	-1.00
平成17年 8月 1日	1,000	-169	1,000	-147	-4.48	-1.44
平成17年 9月 1日	1,000	-172	1,000	-150	-5.19	-1.71
平成17年 10月 1日	1,000	-197	1,000	-175	-8.34	-2.86
平成17年 11月 1日	1,000	-190	1,000	-168	-7.84	-2.76
平成17年 12月 1日	1,000	-208	1,000	-207	-10.22	-3.73
平成18年 1月 1日	1,000	-220	1,000	-219	-11.84	-4.48
平成18年 2月 1日	1,000	-228	1,000	-227	-13.07	-5.12



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-221	1,000	-220	-12.61	-5.08
平成18年 4月 1日	1,000	-225	1,000	-224	-13.40	-5.59
平成18年 5月 1日	1,000	-221	1,000	-220	-13.21	-5.70
平成18年 6月 1日	1,000	-190	1,000	-190	-10.24	-4.53
平成18年 7月 1日	1,000	-190	1,000	-189	-10.54	-4.83
平成18年 8月 1日	1,000	-187	1,000	-187	-10.56	-5.02
平成18年 9月 1日	1,000	-200	1,000	-220	-12.29	-6.10
平成18年 10月 1日	1,000	-198	1,000	-215	-12.35	-6.38
平成18年 11月 1日	1,000	-199	1,000	-214	-12.76	-6.87
平成18年 12月 1日	1,000	-197	1,000	-210	-12.88	-7.24
平成19年 1月 1日	1,000	-210	1,000	-220	-14.58	-8.61
平成19年 2月 1日	1,000	-215	1,000	-224	-15.47	-9.59
平成19年 3月 1日	1,000	-214	1,000	-220	-15.64	-10.18
平成19年 4月 1日	1,000	-211	1,000	-215	-15.63	-10.71
平成19年 5月 1日	1,000	-214	1,000	-216	-16.28	-11.79
平成19年 6月 1日	1,000	-219	1,000	-218	-17.10	-13.12
平成19年 7月 1日	1,000	-214	1,000	-213	-16.89	-13.76
平成19年 8月 1日	1,000	-197	1,000	-197	-15.45	-13.40
平成19年 9月 1日	1,000	-182	1,000	-182	-14.19	-13.18
平成19年 10月 1日	1,000	-192	1,000	-191	-15.49	-15.49

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年9月末までの運用実績を示したものです。  
 なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

